

第3回専修大学社会科学研究所・檀国大学合同研究会について

宮寄 晃臣

第3回合同研究会の開催方式は第2回合同研究会のその逆で、檀国大学が主催者となり、専修大学社会科学研究所側が招聘される形をとって進められた。『リーマンショック後の日韓経済・経営と政策』をテーマに双方2名による報告ならびにその報告に対してコメンテータを立てておこなわれた。

なお、専修大学社会科学研究所からは町田俊彦、田中隆之、蔡イン錫、宮寄晃臣の4名が参加した。合同研究会開催の前日10月8日、成田発9時20分KE706便にて仁川空港に降り立ち、Lim Sang Hyuk教授の出迎えを受け、江南のホテルで荷を解き、その後ソウルの仁寺洞通り、清溪街の案内を受け、ソウルの都市整備事業のひとつを見聞することができた。

研究会当日はソウルの高速バスセンターから天安に向かい、2008年に初めてうかがった檀国大学天安キャンパスで檀国大学経営学部のほとんどの教員スタッフが参加されるなか、昨年来日されたKim Joo Tae教授、Gon Yang Jong教授、Choi Jae Hwa教授、Lim Sang Hyuk教授とも旧交を温めながら、以下のプログラムに従って研究会が進められていった。

第3回合同研究会：テーマ『リーマンショック後の日韓経済・経営と政策』

(檀国大学、2010年10月9日)

挨拶 Choi Jae Hwa (経営学部長)

報告 町田俊彦 (経済学部教授) 「民主党政権下の経済政策—税制改革を中心に—」

コメント Kim Byung Soon (経営学部教授)

田中隆之 (経済学部教授) 「非伝統的金融政策の効果について」

コメント Shin Dong-Ryung (経営学部教授)

Yoo Keedong (経営学部教授)

MULTI-CRITERIA EVALUATION APPROACH FOR DETERMINING

THE VALUE OF INFORMATION AND KNOWLEDGE

コメント 蔡イン錫 (経営学部教授)

Kim Yeung Jo (経営学部教授)

Differential Weighting in Brand Extension Evaluation: The Role of

Process- vs. Outcome-Focus

コメント 蔡イン錫 (経営学部教授)

この月報では町田報告、田中報告ならびに宮寄総括コメントを掲載する。
なお参考のため、過去2年分の合同研究会のプログラムを以下に表示しておきたい。

第1回合同研究会（檀国大学、2008年3月16日）

挨拶：Chan Ho-Sung（檀国大学総長）、Kim Tai Gi（檀国大学紛争解決センター長）、
内田弘（専修大学社会科学研究所長）
報告 高橋祐吉（経済学部教授） 「現代日本における『労働の世界』」
Kim Tai Gi（経済学部教授）「韓国の労使関係」
宮寄晃臣（経済学部教授） 「逆噴射するグローバル資本主義と日本経済」
Shim Ji Hong（経済学部教授） 「IMF以降韓国経済のパラダイム変化」
水川侑（経済学部教授） 「日本ビール業界の現況」
Lim Sang Hyuk（経営学部教授）「IMF以後の韓国企業の人事システムの特徴」

第2回合同研究会：テーマ『世界同時不況下の日韓経済・企業システム』

（専修大学、2009年10月29日）

挨拶 町田俊彦（専修大学社会科学研究所長）
報告 Kim Joo Tae（経営学部教授） Stock Repurchase and Corporate Governance Reform
In Korea An Actor-Centered Perspective
コメント 池本 正純（経営学部教授）
Gon Yang Jong（経営学部教授） 「韓国企業の新しい跳躍：経営革新-Poscoと
三星 SDI 事例を中心に-」
コメント 佐藤 康一郎（経営学部准教授）
宮寄晃臣（経済学部教授） 「米主導のグローバル資本主義の終焉と日本経済」
コメント Choi Jae Hwa,（経営学部教授）
福島利夫（経済学部教授） 「『日本的経営』の見直しと格差・貧困の諸相」
コメント Lim Sang Hyuk（経営学部教授）